

オイスカ宮城県名取市に参加 東日本大震災復興支援 海岸林再生プロジェクト10年計画

本部は7月4・5日にJR連合の一員として、オイスカで行っている東日本大震災復興支援、海岸林再生プロジェクトに参加した。再生の場所は宮城県名取市の海岸線で、菅野委員長を筆頭にJREユニオン6名で、JR連合総勢35名、南は九州からの参加もあった。1日目は、名取市の海岸林に植林した、クロマツ周辺の除草や水路作りの作業に、オイスカの吉田さんに指導をもらって汗を流し、夕方は仙台駅前の居酒屋で懇親を深めました。

OISCAという名称の意味

O rganization	機構
I ndustrial	産業
S piritual	精神
C ultural	文化
A dvancement	促進

人間の生存に不可欠な三要素「産業・精神・文化」のバランスを大事にした発展を世界規模で推進していくことを目的として、このように名付けられました。



オイスカの吉田さんの説明を受ける



除草をする飯野副委員長と大塚さん



旧野蒜駅舎内にある津波パネルの説明を受ける参加者

二日目は、列車に津波が直撃し、「くの字」に変形した現場の、仙石線旧野蒜駅（のびる）周辺を視察しました。なお、仙石線は仙台～石巻間が5月30日に線路を海岸線から内陸側に移設し、全線開通しました。